

平成 30 年度 卒業年次アンケート分析結果の報告

1. 学習面

【日本文化学科】

平成 30 年度の日本文化学科卒業年次アンケートでは、「日本文化学科での 4 年間の生活を総合的に満足できるものでしたか」という項目で 54%の学生が「とてもそう思う」と、32%の学生が、「そう思う」と回答しています。「学科での学びと生活について」の 8 項目中 5 項目で、90%以上の学生が「とてもそう思う」「そう思う」と回答しています。

以上の結果を受けて、学科として各教員が一人一人のニーズに合わせた指導を行うとともに、卒業生全員が総合的に満足できる 4 年間の教育内容、サポート体制を整えていきたいと考えています。

【国際文化学科】

学外での学習プログラム（国内・海外研修、インターンシップ等）について、昨年は 1/3 の学生が不満をもっていました。今年では参加者が増えたこともあり 1/4 に減少しました。今後とも創意工夫を続け、ひとりでも多くの学生が参加できるプログラムを開発するつもりです。また、国際文化学科における 4 年間の生活について不満を表明した学生が昨年より 10%ほど増加しています。大学における学びの意義や社会的な使命について、十分に説明し切れなかったのかもしれませんが、解決すべき最大のテーマとして教員で共有していきたいと思えます。

【人間関係学科】

人間関係学科(専攻)は、全教員が一人ひとりの学生に寄り添いながら、人間と社会における様々な問題に対して知識を活用しつつ的確に対応できる人間力を身につけることを目指しています。ゼミで選択できる社会学、心理学、哲学、メディア学などはそのための切り口です。学科(専攻)では専門ゼミの学問分野にとらわれることなく、社会に役立つコミュニケーション力や、幅広い実践力・実行力、豊かな人間性の育成を目指しています。

【心理学科】

学生の皆さんのアンケートを踏まえて、心理学科では専門科目をより充実させていくよう努力していきます。ただし、内容を充実させるためには、学生の皆さんが主体的・積極的に授業へ参加することも必要です。皆さんとともに心理学科を盛り上げていきましょう。

【住空間デザイン学科】

各コースの専門教育科目のカリキュラム構成とこれらの授業を通してのリビングデザイナーについての理解度が「ある程度そう思う」90 パーセントですが、この点についての授業内容の充実と理解を深めるための努力をしていきます。

【メディア表現学科】

メディア表現学科では、実習科目もしくは実習を伴う講義科目が多く、比較的に少人数のクラスになることが多いため、その授業活動の中で友人関係が良好になったり、新たに友人ができたりすることが多くあります。そうしたことから、ゼミに関する設問や友人に関する設問が比較的高評価となっています。また、少人数クラスが多いことから、就職関連や、資格関連の周知がしっかりなされ、そういった設問も満足しているとの評価を得ています。それに対して、実習科目が多いことから学内での滞在時間が比較的長くかつ、帰りも遅い時間になることが多いことから、学食やアクセス面で不満足傾向が出ています。このことに関しては、学校として改善すべきことと、今後社会に出て組織人として納得すべきことと、自ら改善すべきこととの分別がつけられることを願いたいと思います。

【健康栄養学科】

健康栄養学科の学生においては、学科（養成施設）としての対応（専門科目の内容、先生方の学生への対応、国試験対策など）には満足している者が多いことが、集計結果やご意見からも伺えました。なお、当学科の卒業生からは「外国語科目」の授業方法等の検討のほか、他学科と同様、「ATM設置」、「Wi-fi設置」、「PCが古い」等のご意見を頂きました。

2. 学生生活面

【学生食堂について】

- ・学食のメニュー見直しについては平成31年4月から実施しましたが、特別メニュー提供の日も含めて随時進めてまいります。
- ・価格につきましては、他の外食業者と同様昨今の人件費の上昇や食材価格の高騰の中、学食の運営業者に対してはかなりの企業努力をお願いしているところです。街中の一般飲食店とは異なり、利用者が昼休み時間の約1時間に限定されてしまう悪条件に営業の難しさがあるようですが、引続き女子学生の皆さんに満足される価格設定を検討してまいります。
- ・現段階では、食堂業者の入れ替えも検討しております。今のところ1社見積を取っている段階です。毎年、上がってくる内容なので、今後検討を続けます。

【小田急バス・スクールバスについて】

- ・公共交通機関の小田急バスと学園と委託をしているスクールバスのちがいで無料化は難しいところです。スクールバスを無料化すると、スクールバスばかり多人数になりバスが足りなくなることが予想されます。そこで、無料化は難しい問題だと思います。しかし、ダイヤについては、便数の増加を含めて、スクールバス運行会社と協議をしてみます。

【WI—FI について】

- ・「学内に WI—FI 入れて欲しい」という意見がありました。大学全体をカバーするのは、コスト的に不可能です。場所を限定すると今度は多くの学生が、そこに集中してしまう傾向があり防犯上、難しい問題があります。しかしながら現在、何らかの方法を検討しているところです。

【休講情報の掲出とメール配信について】

- ・掲示情報は、事務関連部門から配信する情報のみ掲出されています。休講については、教員からの情報が提出された順に、ポータルサイトへの掲載を行います。当日に休講の連絡があった場合は、ポータルサイトへの掲出と実施教室への板書も行います。休講は、科目の担当教員からの補講届の提出があった場合、速やかにポータルサイトに掲出しています。
- ・補講は教員による実施日の決定があり次第、実施する教室の確認などの対応をしてからの掲出となりますので休講よりも確認項目がありますが、決定した場合にはすぐに掲示をしています。今後もできる限り早くポータルサイトへ掲出するよう努めていきたいと思えます。
- ・メールで掲示情報を配信することについては、機種や契約内容によって添付ファイルが受信できない、通信の負担がかかるなど学生のみなさんにも負担がかかりますが、利用について今後検討いたします。

【学生支援・窓口について】

- ・教員と職員、また、各部署と連携を図り、学生一人ひとりに対して真摯に向き合い、適切で丁寧な対応を心掛け、学生が不愉快な思いをしないよう安心して学生生活が過ごせるようにサポートしていきます。

【学修支援・学修支援センターについて】

- ・新年度より英語と生物の指導員を増員し、英語、生物が苦手な方をサポートする体制を強化します。現状は、言語、非言語（数学・理科）の指導員 2 名の体制ですが、新年度より英語と生物の指導員を増員します。これにより英語、生物が苦手な方をサポートする体制が整います。
- ・また基礎学力テストのフォローアップ講座だけでなく、TOE I C 講座など学生の基礎学力向上に役立つ講座を開講していく予定です。

【就職支援・進路総合センターについて】

- ・「就職支援センターに相談しに行った際に、住空間学科についてあまり知らなかったようなので残念でした。」という意見がありました。本学内の様々な点において、対応者（職員、カウンセラー）によって理解に差が出るようなことのないよう、自己の研鑽を促すと

ともに、もし、対応が難しい状況となった場合には、きちんと周囲の職員に相談を求めるような環境をこれまで以上に整えていきたいと思えます。

【図書館について】

- ・「テスト期間は日曜日でも図書館を開けて欲しかった。」という意見がありました。日曜、祝日の開館については、セキュリティー面等において、今後も開館は難しいと考えています。月曜から土曜日までの利用時間の中で、効果的な学習をしていただけるようお願いいたします。
- ・「WI-fiがないのは良くないと思う。大学のパソコンが古すぎる。図書館の視聴用のパソコンがBlu-rayや大手動画配信サイトに対応していないのは良くないと思う。」との意見がありました。図書館の視聴用のパソコンについては、時代の要請を考慮し、今後Blu-rayや大手動画配信サイトへの対応も検討していく予定です。
- ・今後とも図書館利用者の利便性を図り、快適な環境を整えるように努めていきます。

【入試センター】

- ・「オープンキャンパススタッフは12時に集合なのですが、11時台のスクールバスが1台もないので大変不便でした。」という意見がありました。オープンキャンパスの学生集合は12:30だった為、12:05のバスで来てもらう事を想定し、11時台の増発はおこなっていませんでしたが、早めに来たい学生もいると思えますので、2019年4月以降は11時台に1本増発便をいれるようにしていきたいと思えます。

・「スクールバスが有料であることを、入学前に告知した方がよいと思えます」という意見がありました。2018年3月に卒業された方のアンケートでも同様のご指摘をいただきましたので、2018年5月～2019年3月に実施したオープンキャンパスでは、来場者全員に配付するタイムスケジュールにスクールバスや小田急バスの定期代を記載することによって、スクールバスが有料であることを来場者にお伝えしました。また今年からは大学案内においても有料であることを記載しています。